

石川運輸支局 岩岸 喜男支局長

点検整備の重要性
改めて周知徹底

石川県内の交通事故発生件数や死者数は長期的に減少しているが、足元では下げ止まりの傾向がみられる。死亡事故については、交差点やその付近での発生が約9割を占める。また、交通事故で亡くなった人の約半数が高齢者だ。被害者として加害者とともに高齢者に高年齢者が加わっている。バスやトラックなどの事業用自動車に関係する

富山運輸支局 木村 幸典支局長

不正改造車排除へ
地道に啓発活動

富山県では交通事故発生件数や死者数が前年を上回っており、決して樂觀視できない。特に高齢者が関係する割合は全国平均より高く、高齢化の進展や生活道路の多い地域特性を踏まえ、一層の対策が必要だ。運輸支局としては、運送事業者に対する啓発を継続する。秋以降は日没が早まり、夕暮れ時から夜間にかけて事故発生率が高くなる。早めのライト点灯やハイビームの適切な活用を促していく。

福井運輸支局 大木 康夫支局長

適切な労務管理
運送事業者に促す

福井県内の人身事故件数はここ10年で約5割減少し、状況は大きく改善している。一方、社会の高齢化が進む中で交通事故の被害者に占める高齢者の割合が大きくなっている。死者数の約3分の2、重傷者のおよそ半数を高齢者が占めている。高年齢者の事故防止対策は引き続き大きな課題だ。運送業界では人手不足の深刻化を背景に、高齢ドライバーの活躍がますます重要になっている。

特集 秋の交通安全運動【北陸3県】

ゆとりある優しい運転

全国と同様、北陸3県でも「秋の全国交通安全運動」が9月21日からスタートする。30日までの10日間、北陸地区でも行政、自動車関係団体、各企業がさまざまな試みを実施する。秋の行楽シーズンを控え、今後は急速に日没が早まるだけに、夕暮れ時や夜間の重大事故リスクが跳ね上がる。北陸3県は公共交通機関が未発達で、多くの県民にとって自動車への依存度が高いのが特徴だ。それだけに、自動車業界をはじめ関係者が一丸となった活動を実施し、悲惨な事故を根絶することが急務だ。

夕暮れ時 早めの点灯 反射材着用

この「見えないリスク」に対し、政府は①歩行者の安全確保と反射材用品の着用促進②夕暮れ時の早めのライト点灯と飲酒運転・「ながらスマホ」の根絶③自転車・特

生活道路の速度域引き下げ追い風に

北陸の秋は、いわゆる「釣瓶(つるべ)落とし」と呼ばれる急激な日没の早まりに見舞われる。通勤や通学のピーク時間帯と日没直後の「薄暮時間帯」が重なるため、ドライバーの目が暗さに慣れず、道路を横断する歩行者や自転車の発見が遅れる事例が増えている。



北陸地区の自動車業界関係者が交通安全にさまざまな取り組みを実施する



定小型原動機付自転車の交通ルール順守徹底などを重点課題に掲げている。

特に今年は9月1日に生活道路の法定速度を時速30キロに引き下げる「改正道路交通法」が施行された。道幅が狭くセンターラインのない生活道路での減速徹底は、歩行者優先の意識を地域に根付かせる大きな契機として注目されている。

日本自動車連盟(JA F)の調べによると、25年の「信号機のない横断歩道における一時停止率」では、富山県が60・9%で全国22位だった。一昨年の全国ワーストの31・6%からは改善し、全国中位となった。福井県は35・8%で全国ワースト3位の厳しい現状だ。一方で、石川県が70・3%で全国8位となり、一昨年から順位を落としたものの、上位の実績を残している。

人、福井県が21人の合計83人だった。先進運転支援システム(ADAS)搭載車の普及に加え、自動車業界関係者らの懸命の取り組みで、死傷者数の

は漸減傾向を示している。とはいえ、依然として悲惨な死亡事故はなくなっておらず、深刻な状況が続く。

実際、高齢者や歩行者が痛ましい死亡事故に合うケースは枚挙に暇ない。事故を未然に防ぐカギは、道路を共有する全員の規範意識にある。ドライバーは「夕暮れ時の早めのライト点灯」と対向車がない場面でのハイビーム活用を心がけ、歩行者は明るい衣服や反射材で「自らの存在を周囲に知らせる」防衛策が不可欠だ。また、着用が努力義務となっている自転車のヘルメット装着順守も、命を守る境界線となる。

誰もが被害者にも加害者にもなり得るからこそ、ゆとりを持った「優しい運転」の徹底が不可欠。自動車業界を含めた関係者が一丸となった対策が求められている。

令和8年

秋の全国交通安全運動

9月21日(月)～
9月30日(水)

(順不同)

富山県自動車販売店協会 会 長 品川祐一郎 富山県自動車販売交通安全推進協議会 会 長 浅生忠和 富山市新庄町馬場一八八 電話(〇七六)四二五八三三三	富山県自動車整備振興会 富山県自動車整備商工組合 理事 長 黒澤 敏 富山市新庄町馬場二四二 電話(〇七六)四二五八二二六	株式会社北陸マツダ 代表取締役 趙 祥庚 野々市市横町三二一 電話(〇七六)四二八二二二〇	トヨタモビリティ石川株式会社 代表取締役会長 菊田 哲 代表取締役社長 大森一志 金沢市直江東二二二二 電話(〇七六)三三八五七七七代表	石川県軽自動車協会 会 長 山野吉彦 金沢市直江東二二二二 電話(〇七六)三三八五七七七代表	石川県自動車販売店協会 会 長 小杉雄二 石川県自動車販売交通安全推進協議会 会 長 菊田 哲 金沢市直江東二二二二 電話(〇七六)三三八五七七七代表	石川県自動車整備振興会 石川県自動車整備商工組合 理事 長 架谷洋司 金沢市直江東一四二 電話(〇七六)三三九一四〇〇一	日本自動車連盟 石川支部 支 部 長 大森一志 金沢市新保本四一八 電話(〇七六)二四九一二二五二
富山県軽自動車協会 会 長 萩原道郎 富山市新庄町馬場一七 電話(〇七六)四〇五九三六六	日本自動車連盟 富山支部 支 部 長 笹山泰治 富山市赤田七九一三 電話(〇七六)四二五五五五〇	トヨタモビリティ富山株式会社 代表取締役 品川祐一郎 富山市千歳町二五二六 電話(〇七六)四三二四一四一	トヨタカローラ富山株式会社 代表取締役 黒澤 敏 富山市田中町三丁目一六〇 電話(〇七六)四三二二二一〇五	ネットトヨタ富山株式会社 代表取締役 長 笹山泰治 富山市新庄本町三三三三 電話(〇七六)四五一二八八八	株式会社ホンダ自販タナカ 代表取締役 長 奥 達也 富山市新庄本町二一九七九 電話(〇七六)四七一五九七二	富山県自動車整備振興会 富山県自動車整備商工組合 理事 長 田中 森 富山市西谷一丁目一四〇一 電話(〇七六)三三三三三三三	福井県自動車販売店協会 福井県自動車販売交通安全推進協議会 会 長 田中 森 福井市西谷一四〇一 電話(〇七六)三三三三三三三
日本自動車連盟 福井支部 支 部 長 浮田慎太郎 福井市和田中二二二二 電話(〇七六)二二二二二二〇〇	福井トヨタ株式会社 代表取締役 長 浮田慎太郎 代表取締役 田中 森 トヨタカローラ福井株式会社 代表取締役 田中 森 ネットトヨタ福井株式会社 代表取締役 窪田裕之 福井市下荒井町二二二三 電話(〇七六)三八一七〇〇代表	福井日産自動車株式会社 代表取締役 清水信弘 福井市下荒井町二二二三 電話(〇七六)三八一七〇〇代表	富山県自動車販売店協会 富山県自動車販売交通安全推進協議会 会 長 浅生忠和 富山市新庄町馬場一八八 電話(〇七六)四二五八三三三	富山県自動車整備振興会 富山県自動車整備商工組合 理事 長 黒澤 敏 富山市新庄町馬場二四二 電話(〇七六)四二五八二二六	株式会社北陸マツダ 代表取締役 趙 祥庚 野々市市横町三二一 電話(〇七六)四二八二二二〇	トヨタモビリティ石川株式会社 代表取締役会長 菊田 哲 代表取締役社長 大森一志 金沢市直江東二二二二 電話(〇七六)三三八五七七七代表	石川県軽自動車協会 会 長 山野吉彦 金沢市直江東二二二二 電話(〇七六)三三八五七七七代表